

# ひろば代

557.5.15  
大代公民館

## 一母の日

中学三年 木藤利佳

## 一母の日

母の日は、農家にとつて  
最も忙しい日です。

小学六年 稲倉徳  
ほくの母は、大代小学校  
につとめています。

ふだんは一晩先に起き  
早くと父の食事の用意をし  
ます。そのあとせんたく  
をして家を出るのは、ハ時  
じろです。學校では、とう  
じをしたり、花壇の手入  
れをしたりします。毎日な  
のび大変であります。それも、無理  
のためか、日曜日や休  
一日中ねこいにりする二と  
があります。これも、無理  
をしたからだと思います。  
これからは無理をせず、  
体を大切にしようとします。

一母について  
小学六年 稲倉徳  
母の日は、母は働くと  
いうこの日も、母は働くと  
います。そんな母を見てい  
ふと農家のつらさが、み  
じみと伝わって来ます。  
そして食事の用意をして  
たり、掃除、洗濯などに、  
忙しく日を送ります。  
結局この日は、母に何も  
しかしこれらは忙  
い母の手伝いをひきこ  
けするよに、少しでも  
います。

## 母親教育

ハ・反田 三窓里子  
「母親教育」をひきこ  
けするよに、少しでも  
います。

一母について  
小学六年 稲倉徳  
二人の母が元気で長生きし  
くほしいと心から願うこの  
度です。

## 里の母も元気でいます。

二人の母が元気で長生きし  
くほしいと心から願うこの  
度です。

## 子育てに必要なもの

食べさせる事に心配だった  
母。そんな母に少しでも有  
づけたらと今、頭のアンテ  
ナで情報を少しずつ落してい  
る母です。

## 反応

おかげで色々な事も知ら  
れたり、よく思っています。

私が子供の頃の母を思い  
なげて、この母も、少しでも結局  
無理もない。少し腰も曲  
がったようだ。子供の頃から、母に、今まく感謝し  
てあります。

素直な子。人に迷惑をか  
けないように、子育てに行き  
着くところはそこだと確信し  
ました。

食べさせる事に心配だった  
母。そんな母に少しでも有  
づけたらと今、頭のアンテ  
ナで情報を少しずつ落してい  
る母です。

## 少年健全育成

「訓練を捕えて縄をぬう」と  
講議会会長 渡 敏昭

言葉が有りますが、私は  
今、まさに子育てという縄をぬ  
を心死でぬつていう。どう  
言つてもがくつなりません。

近時少年の非行犯罪教  
子供達が成長する度に、増に鑑み、これが未然防止  
に良い働く人だと感じ  
に良い働きをめざす。教育  
はすす。自分から子供の  
から水田、福田、両係官を

招き 町内園株種園や、  
体の代表者が集つて会合が  
開かれました。

約三時間半にわたり進行  
の原因や防止対策について  
熱心に討議が展開され、子  
供は「郷工の室」、鍛金業者に  
は町ぐるみなどと次々新た  
に新年度の決算に乗り出しました。

なお、防止対策の一環と  
して、小中学校PTAの  
皆さんの標語を募り、街  
に掲示して健全な生活を  
訴えることとした。

佳音三出席の皆さんが、必ず  
必ず三意見は地圖の  
園地を東西に走る獨創的  
な構造、今後山田寺山の  
もとに、お寺を建てられ

### 郷土の伝説

山田寺の仏工 (さうこう)

太代(葉)長 山本清助

と二つで、新屋天神城主

ハ部郡山田村医王山安全寺

の薬師如来を、深く信仰し

ておられます。この薬師

如来は、弘工眷のお師匠

さんの作られたもので、此

いげんあらひであります。

たから、すいぶん大切にし

ておられ、石見国にこれら

の大功に持つてござれ。ほん

ておに信心の深い人でした。

この頃のせの中は、鞆園

時代でもあり、せの中が並

れつゝ一帯から大切な戦

闘如來を、城内に安置して

いたは、一つ、いかなる戦

に会うと難にあつてもそれ

すいと心配し、あちらこちら

と産む土地を工事され

た結果、今後山田寺山の

もとに、お寺を建てられ

薬師如来を安置されました。

(農)花田三郎 松井士平

泉 昌助

山根善教

渡 達子

山根正三

高崎 草

花田三郎

原田英夫

谷口通次

武田清枝

日向高弘

泉 明記

森鶴司朗

② P.T.A.

・幼稚園の部

・中学校の部

・新役員の紹介

昭和五十七年度

自衛隊長の部(都連)

(副)橋本昭二

谷口是夫

藤井泰子

(副)今田文子

松井士平

(副)武田 勇

下垣忠男

中垣工男

渡 達子

山根正三

高崎 草

花田三郎

原田英夫

谷口通次

武田清枝

日向高弘

泉 明記

森鶴司朗

① P.T.A.

・幼稚園の部

・中学校の部

・新役員の紹介

昭和五十七年度

自衛隊長の部(都連)

(副)橋本昭二

谷口是夫

藤井泰子

(副)今田文子

松井士平

(副)武田 勇

下垣忠男

中垣工男

渡 達子

山根正三

高崎 草

花田三郎

原田英夫

谷口通次

武田清枝

日向高弘

泉 明記

森鶴司朗

② P.T.A.

・幼稚園の部

・中学校の部

・新役員の紹介

昭和五十七年度

自衛隊長の部(都連)

(副)橋本昭二

谷口是夫

藤井泰子

(副)今田文子